

# 一 般 質 問 通 告 書

令和2年第3回定例会 No. 1

| 順 位 | 質 問 者   | 質 問 事 項                     | 要 旨   | 質 問 の 相 手 |
|-----|---------|-----------------------------|---|-----------|
| 1   | 沖 野 一 雄 | 1 新型コロナ禍をめぐる知見と反省、課題等について   | <p>(1) 新型コロナウイルス感染者集団が本町で確認された7月末、県は島全体を一つのクラスターと判断し、集中的な感染拡大防止対策を行った結果、発生から約1か月を経て町長が来島自粛要請を解除し、収束となった。この一連の騒動や関係機関の取組、方法など、本町が学び得た知見と反省、課題等について、町長はどのように認識し、総括しているか。</p> <p>(2) 7月末に創設した「与論町新型コロナウイルス感染症対策寄付金」について、進捗状況と町民支援の実績、今後の活用計画等について伺いたい。</p> | 町 長       |
|     |         | 2 電柱の地下埋設に係る「先進モデル町」の実現について | (1) 現在、町内の一部地区において、電柱の地下埋設が進みつつある。そこで、台風等の災害対策および観光地にふさわしい景観対策として、「電柱のない小規模自治体の先進モデル」を目指す全町整備を強力に進めていくことを提案したいが、町長の考えと今後の取組の具体策について伺いたい。  | 町 長       |
| 2   | 林 敏 治   | 1 自然災害に強いまちづくり対策について        | (1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を継続しながらの避難所運営は、3密を避けるため、受け入れ人数を制限する必要があることから、これまでより多くの避難所の確保が必要になってくると思われる。自然災害に強いまちづくりを進めていく上で、自らの身の安全はまず自ら守るという「自助」を防災対策上の基本的な考え方とし、今後、自宅周辺等に避難所(シェルター)などを個人で設置する住民に対して町独自の経済支援策を講じる考えはないか。                                     | 町 長       |
|     |         | 2 高齢者が安心安全に暮らせる環境づくり        | (1) 現在、急速な高齢化社会が進行する中、本町においても高齢者が安心安全に暮らせる環境づくりが求められている。役場新庁舎や避難所などの公共施設等に歩行器や車イスなどを常備して、高齢者にやさしい環境づくりをする必要があると痛感するが、町長はどう考えているか。   | 町 長       |

# 一 般 質 問 通 告 書

令和2年第3回定例会 No. 2

| 順 位 | 質 問 者 | 質 問 事 項            | 要 旨  | 質 問 の 相 手 |
|-----|-------|--------------------|--|-----------|
|     |       | 3 医療施設の存続について      | (1) 現在、パナウル診療所は島民の心と生命を支えるため、午前・午後の診療の合間に訪問診療、住診などを積極的に行いながら、地域医療に献身的に取り組むなど多大な貢献をされている。この医療施設が、来年から閉鎖されることから、医療施設の存続を求める声があるが、町長は、島の脆弱な医療体制の充実を図る上で、幅広く全国から後継者を公募して、この医療施設を存続させる考えはないか。   | 町 長       |
| 3   | 原 栄 徳 | 1 教育環境の充実、向上対策について | (1) 今般のコロナ禍の影響による、教育の中断や学習指導の遅れなどから、ITやAI技術を活用した教育環境を整備する必要性があらためて浮き彫りとなったが、時代に沿った教育環境の充実を図るため早期導入する考えはないか。<br>(2) 現在、少子化による与論高校の生徒数の減少対策として、ふるさと留学制度を推進している。島外からの生徒受け入れの安定化を図るためには、学生寮(寮母体制で安心安全な施設)を早急に建設する必要があると思われるがどのように考えているか。 | 教 育 長     |
|     |       | 2 子育て支援の拡充について     | (1) 妊娠中や出産、育児において、母親の不安を少しでもなくし、子供を安心して産み育てられる環境づくりが少子化対策において重要な施策であるとする。特に、医療体制が整っていない本町においては、島外での医療機関の受診費用など経済的な負担が大きく、生活が安定していない若者世帯においては、これまで以上の経済的支援が必要であると痛感するが、町長は、子育て支援の拡充を図る考えはないか。   | 町 長       |
|     |       | 3 供利港、茶花港の港湾整備について | (1) 生活路線である船舶の抜港が年々増えている状況において、少々の悪天候や季節風に影響を受けない港湾の早急な整備について、県や国に陳情を行っているようであるが、現在の進捗状況はどうなっているか。   | 町 長       |

# 一 般 質 問 通 告 書

令和2年第3回定例会 No. 3

| 順 位 | 質 問 者 | 質 問 事 項                   | 要 旨  | 質 問 の 相 手 |
|-----|-------|---------------------------|--|-----------|
|     |       | 4 畜産業の振興対策について            | (1) 近年畜産業の急速な発展に伴い、牛舎も大型化し、飼育頭数も島の人口と変わらないほど増加しているが、中には牛舎環境が劣悪な所もあり、特に、し尿処理の問題解決が急務と思われる。島の環境保全と観光振興にもつながるモデル特区となるよう、牛舎環境の改善を図るための事業を県や国に要請する考えはないか。 | 町 長       |
|     |       | 5 漁業振興対策について              | (1) 近海漁場の環境変化により近海魚の減少、中小漁船の漁獲高も減り島魚が需要に追いつかない状況にある。何社かによる大型漁礁のプレゼンテーションも行われ、予算面、補助事業等のアドバイスも受けていると聞いている。大型漁礁の設置が今後の漁業振興には欠かせないと思われるが導入設置する考えはないか。   | 町 長       |
| 4   | 林 隆 壽 | 1 今後の新型コロナウイルスの感染防止対策について | (1) 10月からのG o T oトラベル東京都解禁に伴う来島者の急増が予想される中で、飲食店、宿泊施設等への安全な経済活動が展開できる受け入れ体制の指導についてどう考えているか。また、町民の感染予防対策を引き続き行うための啓蒙徹底についてどのように考えているか。                 | 町 長       |
|     |       | 2 安心安全なまちづくりについて          | (1) 先日の台風10号襲来の際、他の町村において、3密を避けた対応により避難所への避難ができない状況が発生したとテレビで報道されたが、本町においての避難状況と対応について伺いたい。  | 町 長       |
|     |       | 3 サトウキビ再生産対策の構築について       | (1) 今期生産サトウキビの年内操業計画の継続と通常化定着による面積確保及び反収向上を図る考えはないか。   | 町 長       |
|     |       | 4 旧庁舎跡地利用計画について           | (1) 旧庁舎跡地利用について、町民からの意見集約等、進捗状況はどうなっているか。  | 町 長       |

# 一 般 質 問 通 告 書

令和2年第3回定例会 No. 4

| 順 位 | 質 問 者   | 質 問 事 項                    | 要 旨   | 質 問 の 相 手                 |
|-----|---------|----------------------------|---|---------------------------|
| 5   | 喜 山 康 三 | 1 本町における救急医療への対応の在り方全般について | <p>(1) 平成28年12月にドクターヘリが配備された後に、町民から救急患者を沖縄の医療機関になぜ搬送しないのか、奄美は入院、治療中家族の負担が大きい、治療中に何らかの容態変異により当該病院で対応できない場合はどうなるかなど、不安や懸念が多数寄せられている。町長の見解を伺いたい。</p> <p>(2) 救急患者の施設間搬送チェックリストを精査すると、患者本位ではなく行政の都合で搬送先を決めるための仕組みに他ならない。「チェックリスト」には搬送依頼元医療機関や医師の名前、搬送予定医療機関など項目等々がある。そして、「原則として心血管外科、周産期以外は群島内での搬送です。搬送先が未定の場合、沖縄・鹿児島本土を希望する場合は事前に大島病院フライトドクターまでご連絡ください。搬送元病院から消防機関へ出動要請をお願いします。正式要請は消防機関等からドクターヘリ運航管理室にて受付ます。最後に、FAX確認後、フライトスタッフより担当医師へご連絡いたします。」とある。チェックリストを精査すると、患者本位ではなく行政の都合で組立てられている。患者とその家族に寄り添った救急医療を行うためには、チェックリストの見直しが必要と考えられるが、町長の見解を伺いたい。</p> <p>(3) 救急医療には、1次、2次、3次の段階がある。3次救急と判断されると当然ドクターヘリが要請されることになる。しかし、中にはすぐに命にかかわる状態ではないが、病後の社会復帰やQL(クオリティーライフ)のためにも救急医療を施すべき疾病、障害発症もあると考えられる。このような患者にドクターヘリの要請を行うために、どのような対策が考えられるか、町長の見解を伺いたい。</p> | 町 長<br><br>町 長<br><br>町 長 |

# 一 般 質 問 通 告 書

令和2年第3回定例会 No. 5

| 順 位 | 質 問 者   | 質 問 事 項             | 要 旨   | 質 問 の 相 手 |
|-----|---------|---------------------|---|-----------|
|     |         |                     | (4) 沖縄医療機関への搬送は、行政的に他県にお世話になることになるが、それ以上に沖縄県の医療機関、関係者にお世話になる。救急医療は島内医療機関と沖縄医療機関との密接な信頼の上に成り立つものと考えますが、そのためには町長が積極的に沖縄医療関係者への感謝と誠意を示すことも重要と考える。町長の見解を伺いたい。   | 町 長       |
| 6   | 大 田 英 勝 | 1 コロナ禍での避難対策について    | <p>(1) 「避難所マニュアル策定急ぐ」との新聞報道があったが、マニュアルの策定は済んだのか。コロナ禍での避難所の運営は、3密回避等の課題もあり、大変難しいものがあると思われる。策定が済んだのであれば、具体的にはどのようなマニュアルになったのか伺いたい。</p> <p>(2) 先日の台風10号は、特別警報級の台風との前触れもあり、全町民が大変な警戒と緊張感の中で通過して行った。幸い、台風の予想進路が多少逸れたこともあり、心配したほどの被害は出ず、ほっとしていたところである。そこで、台風10号時の各避難所の状況はどのようなものであったのか伺いたい。また、避難所毎の避難人数についても伺いたい。</p> | 町 長       |
|     |         | 2 新型コロナウイルスへの対策について | (1) よもや与論でコロナの発生はあるまいと思っていたが、何とクラスターまで発生してしまった。そこで、今後に備えるためにも、与論でのコロナ発生から落ち着くまでの間、どのような対策を講じたのか伺いたい。特に発生直後の初動の対応については詳しく伺いたい。   | 町 長       |